

平成31年度社会福祉法人北上市社会福祉協議会事業報告

I 総括

平成31年度は、北上市の地域福祉計画と一体性をもって策定した当協議会の「第4次北上市地域福祉活動計画（2019～2023年度）」の初年度でありました。市民の皆様の共通理解のもとに計画を推進するため、市内全支部で地域福祉懇談会を開催し、内容の周知、普及を図りながら、新たに策定した指標の達成に向け各般の事業に取り組んだところであります。

新計画のもとで取り組んだ平成31年度事業は、新規事業として、ひきこもり等支援事業、買い物支援事業を開始したほか、継続事業においては、地域まるまる食堂の実施回数の拡充、なんでも心配ごと出張相談の新たな開設、相談増加に対応した日常生活自立支援事業の専門員の増員など、事業内容に改善を加えて実施しました。このほか、住まいの片づけ応援事業、小地域ネットワーク活動の拡充、災害公営住宅完成による入居支援、社会福祉法人連絡会の設立準備など、市民、地域、関係団体の皆様のご支援、ご協力等により、成果を上げることができました。

一方、新型コロナウイルス感染症に対応し、ふれあいデイサービス事業、障がい者地域活動センター事業、子どもの学習支援事業（まるまる学び塾）など一部の事業については、年度末における実施をやむなく休止し、ご利用の方々にはご不自由をおかけしました。

また、県内にも大きな被害をもたらした台風19号被災地を支援するため、岩手県社会福祉協議会からの広域支援活動の要請を受け、普代村災害ボランティアセンターに職員を派遣し、支援活動を展開しました。

ご支援を頂いた地域の皆様、民生委員、児童委員、福祉協力員、福祉、医療、保健、ボランティア、企業など多くの皆様に感謝申し上げます。

なお、具体の事業の報告は、北上市地域福祉活動計画で取り組む4つの基本目標及び地域福祉を推進するための基盤づくりの次の5項目に基づいて行います。

- 1 地域福祉を担う人づくり
- 2 地域福祉を支えるネットワークづくり
- 3 充実した福祉サービスの仕組みづくり
- 4 暮らしやすい地域環境づくり
- 5 地域福祉を推進するための基盤づくり

平成31年度の実施状況は、以下のとおりです。